

ICT 教材・機器 活用事例

学部	小学部	学年等	5年	教科	図工
授業名(単元名)	筆と墨汁を使おう				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①電子黒板

見本の提示や、児童の作品紹介をする際に全員が注目して見ることができるようを使用した。

②カメラ app (1人1台 iPad)

できた作品を自分で撮影するために使用。

③Keynote (1人1台 iPad)

作品のタイトルを文字で打ったり、できた作品の写真にアニメーションをつけたりして、全員が興味をもって友だちの作品紹介の発表を見ることができるよう使用。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○写真を撮る	<ul style="list-style-type: none"> 使った道具等は回収し、写真を撮りやすいように机の上を整理する。 作品が入りきる画角の位置を一緒に考えたり、撮影しやすいように1人1台 iPad を教員が支えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 ②カメラ app (1人1台 iPad)
○Keynote でアニメーション等をつける	<ul style="list-style-type: none"> 好きなアニメーションを選ぶことができるように色々試すよう、言葉かけをする。 平仮名が読める児童にはキーボードを表示して、自分で文字が打てるように設定する。 写真や文字の位置をどこに設定したいのか一緒に考えたり、促したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③Keynote (1人1台 iPad)
○友だちの前で発表する (友だちの発表を見る)	<p>(発表者)</p> <ul style="list-style-type: none"> アニメーションを楽しむだけでなく、頑張ったところや何の絵を描いたのかを説明することができるように促す。 <p>(鑑賞者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの作品を見て、何の絵が描いてあるのか一緒に考えたり、電子黒板を使いながら説明するように言葉かけをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①電子黒板 ③Keynote (1人1台 iPad)

3. 活用の成果

- みんなが興味をもって鑑賞できるように作品を電子黒板に映し出したことで、前を向いて見ようとしていた。
- ただ写真を映すだけでなく、発表者・鑑賞者が楽しめるように Keynote を使ってアニメーションをつけた。アニメーションを選ぶ時は、どれにしようか試しながら嬉しそうに選んだり、作品の内容に関連づけたアニメーションを選んだりしていて、意欲的に1人1台 iPad を使っていた。
- 作品をモニターに映し出したことで、鑑賞している児童の感想や発言が多かった。
- 前に出ることが苦手な児童も1人1台 iPad を使うことで、積極的に発表することができた。
- キーボードを使って文字を打つ練習を通して、書くことが苦手な児童も自分の名前や作品のタイトルを入力し伝えることができた。